

東北大学加齢医学研究所スマート・エイジング国際共同研究センター
第一回スマート・エイジングセミナー

スマート・エイジング国際共同研究センターは、平成 21 年 10 月に設立されました。このセンターは、国際的な研究拠点として、超高齢社会における新たな統合的加齢科学分野を切り開き、架橋融合的研究、国際共同研究、産学連携研究などを展開します。この度、東北医学会(特別講演会)と共催で、米国 AARP, Office of Academic Affairs, Director の Moody 氏(本研究所客員教授)を迎えて、下記の要領でセミナーを開催いたします。参加は自由ですので、多数の方のご参加をお待ちしております。

【日時】平成 23 年 11 月 29 日 17:00-18:30

【場所】東北大学加齢医学研究所 スマート・エイジング国際共同研究センター 1 階国際会議場

*当研究所には駐車場がございませんので公共の交通機関等によりお越しください。

【演題】The Ethics of Autonomy: A Helpful American Export or Ethnocentric Blindness?

【講師】Dr. Harry Moody (Office of Academic Affairs, AARP)

【使用言語】英語

【参加費】無料

【抄録】American bioethics, from its beginning, has been dominated by the ideal of individual autonomy. Yet critics have raised objections to the dominance of this ideal. In this presentation, we consider the importance of autonomy as an element of American culture and ethics, and contrast it with other ethical ideals: for example, concepts of family solidarity and dignity, in Asian traditions. We conclude with an argument for cross-cultural dialogue on behalf of human rights in a spirit that can overcome the ethnocentrism that prevents genuine communication on a global basis.

Moody 教授略歴

ニューヨーク市立大学ハンターカレッジ Brookdale Center on Aging 教授、同カレッジ Executive Director、Robert Wood Johnson Foundation、Director 等を経て 04 年 1 月 AARP (エイ・エイ・アール・ピー) Office of Academic Affairs、Director 就任。

AARP は、50 歳以上の会員 4,000 万人を有する世界最大の高齢者 NPO。米国議会への強い影響力をもつ。Moody 博士は、加齢学分野の研究論文、著書も多い。また、加齢学分野の著名論文の Editorial Board を多数担当するなど米国のエイジング研究、教育に多大な業績を上げている著名研究者。Moody 博士は AARP の対アカデミア窓口組織の責任者として加齢学分野での学生のキャリア教育、加齢学と産業や公共政策を結びつける活動を行っているのみならず、米国の加齢学分野の産業界・学界に広範な人脈をもつ。